

## 会長挨拶

明治大学教育会長 田中 徹太郎

ただいま、ご紹介にあずかりました田中徹太郎でございます。皆様方から日頃より教育会へ多くのご芳情を賜り心より感謝申し上げます。開催にあたりご挨拶申し上げます。

古代の中国では、旅立つ人に柳の枝を輪に結んで贈る習慣がありました。「輪」は王篇の「環」とも言い、しんにゅうの「還」と同じ発音をすることから、無事に帰還できるようにとの想いを込めたのです。

渭城の朝雨軽塵を浥す  
客舎青々柳色新たなり  
君に勧む更に盡せ一杯の酒  
西の方陽関を出れば故人無からん

王維

渭城の朝の雨が軽い砂埃を収めている  
旅館の前の五月の柳が青々と瑞々しく輝いている  
君に勧む更に盡せ一杯の酒  
西域との境の陽関を越えればもう友人はもう一人もいないのだから

今、戦で、弾圧で、病で、普段の生活の場から離れざるをえない多くの人々がいます。家族や友人達は、その無事を祈る思いで古代の人々と同様に「柳の輪」のメッセージを抱き続けていることでしょう。「柳の輪」のメッセージを贈られた人々もまた、各地で返礼の思いを心に刻み続けているのに違いありません。

愛する人々よ！ 柳の木のように大地にしっかり根ざし、強い嵐にも立ち向かって行け。瑞々しい柳の枝のようにしなやかな強さを持ち、一日、一日を大切に生きるのだ。

To be here To be here

もし、私の命が尽きたとしても決して、人生を恨まないようにしておくれ。落ち着いたら人生に微笑みを！

人生があなたに何を求めているか、世界はあなたに何を求めているのかを、考えてほしい。

大丈夫！ 心配しないでおくれ。皆の元へ必ず生きて戻るから。

教職に就いている皆さん、教職を目指している皆さんは、子どもたちにどのようなメッセージを託しますか。

第15回明治大学教育会総会・研究大会にご多様な折にも関わらずご参加いただきまして誠にありがとうございます。本日が皆様にとって充実した一日になりますよう祈念申し上げます。ご清聴感謝申し上げます。